

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第391回

山本 博

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和6年6月28日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

ばかだって言われるかもしれないけど、僕はもう一度 世界を驚かせたい

山本 博は、日本のアーチェリー選手、医学者。学位は医学博士。日本体育大学 体育学部・教授。東京都体育協会・会長。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問。所属事務所はPEAKS。

Column

アテネオリンピック（2004年）の時、41歳で出場した山本博さんは、その20年前に出場したロサンゼルスオリンピックの時に獲得した銅メダルを上回る銀メダルを獲得して世界を驚かせました。また、アスリートとしては高齢でありながらの快挙に『中年の星』と呼ばれ、活躍を喜ぶ同世代の方々を中心に国内を大いに盛り上げました。そして、その時に“これから20年かけて金メダルを目指します！”と公言してさらに世間を驚かせたことを記憶しています。

今回の言葉にある『ばかだって言われるかもしれないけど』という部分に私はとても共感しました。スポーツに携わる私は難しい試合であっても自分自身を鼓舞する意味で『必ず勝てる！』と言うようにしています。しかし、そういった自分の目標や夢に対して必ず否定的なことを言う人がいます。たしかに現実を教えるということも大切ですが、その言葉が不安を煽り、目標達成の可能性を下げてしまうことではないでしょうか。チャレンジしようとしている人も目標達成への“ビジョン”も持っていると思いますが、わざわざ細かく説明しない理由のひとつとして否定されることへの恐怖があると私は考えます。目標達成に向けたモチベーションUPや不安解消に少しでも自分の経験や知識をビジョンメイクに役立ててもらおう、一緒になって考えてくれる仲間の気持ちをパワーに変えてもらおうという思いで『作戦は？』と聞くようにしています。

時々『負け戦はするな』という言葉を目にしますが“一切のリスクを負うことなく良い結果が得られることだけをやる”ということではなく“取りかかる前に勝つビジョンを作ろう”という意味だと思います。これは大きな目標に限った話ではありませんし、勝率（結果）がすべてという話でもありません。挨拶したのに返ってこなくても、拾ってもゴミが減らないとしても、そういった“仕掛け”が違う形で変えてくることもたくさんあります。正智深谷のみなさんは受け身ではなく『目標達成を引き寄せる！』という気持ちで積極的な仕掛けを重ねていくポジティブな集団であってほしいと願っています！